

2019年度第1学期以降の募集・お知らせ

チャットルーム2019 ～ネイティブ・スピーカーと話そう!～

国際センターでは、協定・私費留学生など外国語のネイティブスピーカーを交えて外国語のみで会話を楽しむチャットルームを、定期開催しています(試験期間・長期休業期間を除く)。学内で外国語のみで会話ができるチャンスです。この機会を積極的に活用し、奮ってご参加ください。実施予定は国際センターホームページやG-Port でお知らせします。



2020年度 第1期協定留学プログラム派遣学生募集

本年度5月頃、2020年度第1期協定留学プログラム(留学期間:2020年4月～翌年3月/派遣先:アジア・オセアニア)の募集を行います。募集要項は国際センターホームページ、G-Port、及び掲示等で公示しますので、確認してください。

なお、本プログラムで留学した先輩方の報告書をセンター内で閲覧することができます。国際センターのホームページでも報告書を公開しておりますので、ぜひご活用ください。
(<http://www.univ.gakushuin.ac.jp/global/abroad/message-fromsenior.html>「留学した先輩からのメッセージ」をご確認ください)

2019年度 留学フェアのお知らせ

国際センターでは、留学や国際交流に関心がある学生が気軽に話を聞き、相談できるよう「留学フェア」を年2回(第1回は6月、第2回は10月)、開催しています。

フェア期間中は、協定留学生による協定校紹介、留学経験者による報告会や個別相談会、「チャットルーム」など、日替わりのプログラムを用意します。自由に参加できますのでお気軽にお越しください。

詳細は、国際センターホームページ、G-Port、及び掲示等で公示します。



海外留学のための奨学金制度について

本学では、留学費用の軽減を図り、できるだけ多くの皆さんが留学等のチャンスを得ることができるよう、さまざまな制度を設けています。各制度の詳細・募集要項は、いずれも掲示や国際センターホームページ、G-Port により確認してください(独自の奨学金を設けている学部・研究科もあります。詳細は、所属の学部学科学務室にお問い合わせください)。

①学習院大学海外留学奨学金

応募条件	「留学願」が承認されて渡航する者 (「休学」による渡航は不可)
奨学金額	1名につき30万円以内(給付)
採用予定数	年間40名程度
募集時期	年2回(第1回12月、第2回6月)

2019年度に留学を開始する方を対象とした第2回目の募集(6月)については、募集要項を5月に国際センターホームページ、G-Port、及び掲示等で公示する予定です。
なお、本奨学金を受給した先輩方の留学報告書(協定留学・協定外留学)が、国際センターにて閲覧できます。

②学習院大学海外短期語学研修奨学金

応募条件	夏季休業中に3週間以上の学内主催の 海外語学研修・短期研修に参加する者
奨学金額	1名につき7万円以内(給付)
採用予定数	年間60名程度
募集時期	年1回(9月末～10月上旬) ※夏季休業開始前に募集要項を公示

③学習院大学春季語学研修奨学金

応募条件	春季休業中に3週間以上の国際センター主催の 海外語学研修に参加する者
奨学金額	1名につき7万円以内(給付)
採用予定数	30名程度
募集時期	年1回(3月)

④学習院大学語学能力試験受験の助成

応募条件	留学のための語学能力試験を受験する者
奨学金額	1名につき1万円以内(給付)
採用予定数	年間80名程度
募集時期	年2回(6月および10月)

⑤大学院学生の国外における研究発表援助

応募条件	国外で開催される研究会等で発表を行う大学院生 (共同発表を含む)
奨学金額	1名につき10万円以内(給付)
採用予定数	年間20名程度
募集時期	年1回(10月)

【編集後記】

表紙の写真は、政治学科 西賀真美さんの作品です。

留学先のキャンパスでのワンシーン、街中で見つけた素敵な風景などを題材に募っている「2018年度国際センター写真コンテスト」の応募作品33点の中から、優秀賞に選ばれました。西賀さんは、国際センター主催の春季語学研修(イギリス・エディンバラ大学研修)に参加した際の思い出の一枚として、応募してくれました。研修校からのホストファミリーの家に帰るとき、坂道を上り振り返るとこの風景が見え、緊張や不安が一気に吹き飛んだとのことでした。優秀賞以外の作品も、皆さんの留学生活での心に残る瞬間が詰まった素敵な写真ばかりでした。

巻頭言のメッセージにもあるように、異国の地で、自分の目で見て、肌で触れた瞬間の鮮やかな記憶、感動や驚きとのたくさんの出会いを求めて、皆さんも憧れの街へ、飛び込んでみませんか?

【国際センター運営委員 平成31年4月1日時点】

所長	山田澄生(理学部)	運営委員	高島明彦(理学部)
運営委員	伊藤真実子(国際センター)	運営委員	星明男(国際社会科学部)
運営委員	小林立明(国際センター)	運営委員	岩田耕一(副学長)
運営委員	橋本陽子(法学部)	運営委員	小島修一(学生センター所長)
運営委員	杉田義弘(経済学部)	運営委員	杉田稔(国際センター事務局課長)
運営委員	スチュアートアリソン(文学部)		

学習院大学
国際センター

International Centre,
Gakushuin University

vol.43

2018年度
国際センター写真コンテスト
優秀賞作品



April 1, 2019
News
letter

学部時代の留学について

国際センター運営委員・法学部法学科教授 橋本 陽子



私は、現在、国際センターの運営委員を約10年ぶりに再び務めています。運営委員は、国際センターの運営にかかわる様々な事項について、定期的に開催される会議で国際センターから報告を受け、学部の要望を伝えるほか、協定派遣学生の選考のための面接委員を務めます。今回、久しぶりに面接を行い、英語その他、留学先の言語で面接が行われるようになっていて、学生に要求されるレベルが上がったことに時代の変化を感じました。

若い学生時代に外国に行くことは、異なる文化の刺激を受けるという点で、非常に重要な意義があると思います。若ければ若いほど、異文化の違いを受け止める感受性と適応力は高いでしょう。ただ、これだけならば、短期の旅行でも十分かもしれません。学習院大学では、近年、短期の語学研修等のプログラムも充実してきています。私も、大学2年生の春休みにドイツに3週間滞在する大学のプログラムに参加したことが初めての海外旅行でしたが、とても楽しく、今日のドイツ法研究の道につながるきっかけになったと思います。

私自身がその後本格的に長期留学したのは、30代前半で、研究者になってからなので、学部時代に留学した経験はありません。そのため、学部時代に半年～1年間留学することの意義を自らの経験からお伝えすることはできませんが、留学中に知り合った交換留学生たちの様子を見ると、率直に言って、1年間で目覚ましい成果を上げるのは難しいと思います。学部生の段階では、何よりも語学力の向上に努めるべきですが、ただ、若い学部生でも、すでに年齢的に、また1年間という短期間で、

ネイティブと同じように会話ができるようになるのは難しいと思います。このことを自覚して、語学の勉強に励む必要があります。現地の友達ができることは素晴らしいことですが、交流の実態は、わかるようにゆっくり簡単な言葉で話してもらって、少しおしゃべりができるという段階にとどまるでしょう。そこで、留学先では、語学の授業を中心に、語学力を向上できるよう努力してほしいと思います。とくに本や新聞・雑誌が読めるようになってほしいと思います。これは、授業だけでは足りないので、自分で努力する必要があります。テレビは、ニュースが理解できるようになることを目標にすればよいかと思います。ニュースがわかり、辞書を使わずに新聞・雑誌を読めるようになれば、その社会を理解する手掛かりになります。作文を添削してもらえる機会は貴重ですので、そのような授業があれば、積極的に取り組んでほしいと思います。勉強の成果を図る目安として、検定試験を活用するとよいと思います。

これらの勉強を部屋にこもってしていると、日本でもできると思いますが、やはり言葉を使う機会は現地にいれば否応なくあります。私は、現地の人は、外国人が自分たちと同じようにおしゃべりできることを期待しているわけではないと理解しています。新聞・雑誌や本を読んで、難しい語彙や表現がわかり、そして何よりも現地の社会を知る努力をしていれば、相手も(遊びに来ただけではなく、よく勉強しているな)と関心をもってくれるようになります。良い友達に恵まれる可能性も高まります。貴重な機会を十分に生かしてほしいと思います。

国際交流on Campus ～「国際センターボランティア」の募集と活動紹介

本学には、2019年4月現在、200名ほどの外国人留学生(私費・協定・国費・研究生そのほか)が在籍しています。国際センターでは留学生の在留管理、学内外の奨学金等経済的支援など各種相談へ対応するほか、彼らの本学および日本での留学生活充実のための支援を行っています。

そこで、留学生のサポート役として活躍してくれているのが「国際センターボランティア」の在学生です。外国人留学生の役に立ちたい、彼らに日本語を伝えたい、留学に興味がある、留学生と交流したい、英語や外国語のブラッシュアップを・・・などなど、国際交流に興味のある方はぜひ、ボランティア登録をしませんか?登録の方法は、ホームページ・G-portでご確認ください。(新入学生は、6月より登録受付を開始します)登録は随時受け付けており、一度登録していただければ、在学中は卒業まで登録を自動延長し、卒業時にデータを削除します。

〈活動内容の一例〉

- ・協定留学生パディ
- ・短期ホストファミリー
- ・留学生交流行事の企画運営
- ・伝統文化芸能体験活動の企画運営補助
- ・チャットルーム企画運営
- ・留学相談・アドバイス

Pick up!! 春季短期ホームステイプログラム ※学習院国際交流基金助成事業

長期休業期間中、本学留学生に対して、日本人学生の家庭に1泊～7泊のホームステイ体験を提供するプログラムを実施しています。今回は、のべ6組の留学生及び日本人家庭が本プログラムに参加しました。次回は夏季休業期間中に実施予定です。興味を持っていたいただいた方は次回募集をお待ちください!国際センターホームページやG-port、立看板でお知らせします。



April 1, 2019
News
letter

発行日/2019年4月1日

編集・発行/学習院大学国際センター

〒171-8588 東京都豊島区目白1-5-1
TEL.03-5992-1024 FAX.03-5992-1025
<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/global/>
([学習院 CIE]などで検索してもヒットします)
<https://www.facebook.com/cie.gakushuin.ac.jp>

※掲載された学生の所属は、平成31年3月末時点のものです。

平成30(2018)年度春季短期研修 実施報告

国際センターでは、毎年夏・春の長期休業期間中に、さまざまな国・地域で短期研修を実施しています。平成30(2018)年度の春季休業期間は、海外協定校で英語・中国語研修を実施しました。また、海外の大学から学生を受け入れ、日本語・日本文化に触れてもらう短期研修を開催しました。

■ 春季英語研修

エディンバラ大学研修

※本学協定校<参加14名>

日程:平成31(2019)年2月3日(日)
～2月23日(土) 21日間



出発前はコミュニケーションや、治安に関して不安がありました。しかし、実際にエディンバラを訪れると、とても治安が良く、ホストファミリーも親切で優しい方たちでした。研修校の授業は毎回目標が明確になっており、非常に有意義な時間となりました。発音やライティングももちろん学びましたが、コミュニケーションスキルが特に向上したように感じます。エディンバラ大学研修に参加して、日本では経験することのできない貴重な経験を数多くすることができました。

(心理学科 1年 鈴木理紗さん)

■ 春季中国語研修

淡江大学研修

※本学協定校<参加9名>

日程:平成31(2019)年3月3日(日)
～3月16日(土) 14日間



今回の研修を通して、異なる言語の人たちとコミュニケーションをとるために、もちろんその言語を話し聞き取れることは大切なことですが、それ以上にもっと話したい、相手のことを知りたいという気持ちが大切なのだと感じることができました。これは、実際に現地に行かなければ分からなかったことだと思います。日常で使う中国語を学び、相手に伝える力を身につけた、とても充実した2週間となりました。

(化学科 1年 西澤花音さん)

■ 春季英語研修

ヨーク大学研修

※本学協定校<参加15名>

日程:平成31(2019)年2月3日(日)
～2月23日(土) 21日間



ヨーク大学は素晴らしい施設と学生を持ち、勉強するのに最高の環境が整っていました。授業には、ウィットビーという町への観光やヨーク市街の散策、英語によるプレゼンテーションなども含まれており、様々な形で海外を体感することができました。その中で一番ためになったのは、外国人留学生との対話の機会が与えられていたことです。ホームステイも現地の生活を体感するという点で最高の環境だったと思います。苦勞することも多々ありましたが、それでもそこで困難を経験したことは間違いなく今後の財産になるだろうなと感じました。

(経済学科 2年 T.Kさん)

■ グローバル・キャンパス・アジア(GCA)東京

学習院大学で行う海外大学生を対象とした日本語・文化研修
本学学生もサポーターとして参加

日程:平成31(2019)年2月12日(月)
～3月1日(金) 18日間



GCA東京2019冬に向け学生部としてさまざまな準備をしてきましたが、始まるとうとう本当の準備が、毎日がとても楽しく充実していました。成功するか不安だった企画も、学生部や先生方のお陰で研修生やサポーターのみなさんの楽しんでいる姿を見ることができ、やりがいを感じました。GCA東京を通じ、これからも繋がっていきたいです。

(政治学科 1年 伊関玲さん)

2019年度夏期短期研修 実施予定

海外協定校および国内英語教育機関で以下のとおり実施予定です。長期留学の準備や、海外未経験の方も、短期研修から参加してみませんか？

研修名	研修先	募集人数	日程研修期間
英語研修	ヨーク大学(イギリス・ヨーク)	30名	2019年8月2日～8月24日
	NEW! ノースカロライナ州立大学シャーロット校(アメリカ・ノースカロライナ)	10～15名	2019年8月3日～8月25日
	タルトゥ大学(エストニア・タルトゥ)	10～15名	2019年8月18日～9月9日
	プリティッシュビルズ(日本国内・福島)	30名	2019年8月16日～8月18日
韓国語研修	東国大学校(韓国・ソウル)	15名	2019年8月4日～8月17日
国際日本研究プログラム	セインズベリー日本藝術研究所(イギリス・ノリッチ)	15名	2019年9月2日～9月10日
	アルザス欧州日本学研究所(フランス・アルザス)	20名	2019年9月2日～9月11日
グローバル・キャンパス・ヨーロッパ	フライブルク大学(ドイツ・フライブルク)	20名	2019年8月3日～8月30日
	フランシュ・コンテ大学(フランス・ブザンソン)	15名	2019年8月4日～9月1日
グローバル・キャンパス・アジア	復旦大学(中国・上海)	20名	2019年8月1日～8月24日
	東呉大学(台湾・台北)	15名	2019年8月4日～8月25日
	高麗大学校(韓国・ソウル)	15名	2019年8月4日～8月24日
学習院グリーン元気プロジェクト	東方大学(モンゴル・チョイバルサンノモンハン)	20名	2019年8月17日～8月30日

※海外短期研修の募集時期・日程の詳細は随時国際センターホームページ、G-Port及び掲示で公示致します。

NEW! (夏季)英語研修ノースカロライナ州立大学シャーロット校(UNCC)

シャーロット(Charlotte)は、アメリカ合衆国ノースカロライナ州南部に位置するノースカロライナ州最大の都市で文化の中心地です。公園や美術館も多く、文化施設が充実しています。

研修内容は、UNCCで日本語を学ぶ学生の授業に参加する1週間と、残り2週間は集中英語コースで主に日本人が苦手とする発音やスピーキングを集中的に学び、「伝わる英語」を身につけるプログラムです。現地の学生と、日本語と英語をお互いに学びながら、授業以外にもスポーツ等様々な活動を通して交流できます。現地の学生との交流は、出発前のメールのやり取りから始まっているので、準備しながら楽しく英語も学べ、現地での交流、活動を通して、さらに使える英語を身につけることができます。現地の学生とは英語を教えてもらうだけではなく、彼らに日本語を教えることもできるので、お互いをサポートし合えるよい関係性が築けます。



留学生のためのイベント(平成30(2018)年度第2学期)

留学生バス旅行の実施【霞会館教育助成金事業】

平成30年10月17日(水)に、神奈川県箱根方面への留学生バス旅行を実施しました。旅行には、本学留学生39名、高等科留学生3名、センタースタッフ2名の計44名が参加しました。

箱根神社を参拝し、日本の歴史を感じ、箱根の伝統工芸品である寄木細工の制作体験を通して、留学生同士の交流を深めました。次回のバス旅行は5月に実施予定です。



留学生文楽鑑賞教室

平成30年12月8日(土)に、国立劇場(小劇場)で開催された「文楽鑑賞教室」に参加しました。解説と共に、「団子売」と「菅原伝授手習鑑」を楽しみました。



留学生日本文化体験週間の実施

平成30年12月3日(月)～12月7日(金)に留学生日本文化体験週間を実施しました。昼休み(と書道体験のみ3限の時間)に、日替わりで留学生に日本文化(かるた、茶道、折り紙、書道)を体験してもらうイベントです。約20名の留学生が参加してくれ、多くの方に日本の伝統文化に触れてもらうことができました。また、約30名の日本人学生が協力してくれたおかげで、初の試みとなった本イベントを成功させることができました。



I participated in the Tokyo Taikan Program which is organized by Konan university, Seikei University and Gakushuin University. The program was held from February 3 to February 5 2019. It was a short 3 days program but during this program I am able to learn a lot of new things and explore many more places in Tokyo. As an exchange student, I have not been to many places in Tokyo but thanks to this program, I am given a chance to learn more about Japanese culture.

The thing that I am most thankful for in this program is the people that I have met. I did not imagine that I would be able to meet so many people and make new friends. For example, the teachers from Konan University are very kind and they try to explain the flow of the events in English for all international students to understand and to feel included.

冬のフェアウェルパーティの実施

平成31年1月31日(木)に、3月で修了、卒業予定の私費留学生及び帰国する協定留学生のフェアウェルパーティを実施しました。当日は、パディやボランティア等日本人学生も参加し、賑やかな一時を過ごしました。また、日本語の先生から「節分」についてお話を伺い、本学での学生生活を終える留学生に、輝かしい春が来ることを願いながら、みんなで豆をまきました。



留学生東京文化体験学習(甲南大学主催)の実施【霞会館助成金事業】

今年も、平成31年2月3日(日)～5日(火)に実施された甲南大学が主催する東京文化体験学習ツアーに、本学の留学生4名が参加しました。甲南大学の学生や留学生、また今年は成蹊大学の学生と共に、国会議事堂等の見学や屋形船の乗船体験等、東京を再発見する3日間となっただけでなく、他大学の学生との交流を楽しむ機会となりました。



The students from other universities are also very friendly and they try to communicate with me in English and I tried to use Japanese so we can practise and improve together. We also went on adventures together during our free time and able to connect with each other despite the culture difference and language barrier.

Even though 3 days is a short period of time, I gain many more knowledge and experience. We start off as strangers but slowly we became friends and able to grow together in this wonderful experience. The program had came to an end but the relationship and knowledge will not! So, if you have the chance, please take part in this program!

(経済学科 チャンホン ナチャライさん アサンプシオン大学(タイ)からの協定留学生)

海外協定校と協定留学プログラムによる留学生・派遣学生

新たに交流協定を締結しました

●オビエド大学 スペイン The University of Oviedo ●仁荷大学校 韓国 Inha University

海外協定校からの留学生をご紹介!

(学籍上の留学期間:平成31(2019)年4月～)

協定校	受入学生	学習院大学での所属	留学期間
ソウル市立大学校	朴 柱省(パク ジュソン)	経済学科	1学期
淡江大学	黄 婷楡(コウ テイユ)	経営学科	1年間
東国大学校	宋 智孝(ソン ジヒョ)	経営学科	1学期
高麗大学校	金 世媛(キム セウォン)	日本語日本文学科	1学期
	崔 潤珠(チェ ユンジュ)	日本語日本文学科	1年間
東呉大学	鷹 心語(セン シンゴ)	日本語日本文学科	1学期
パリ東大学クレティウ校	ACEF, RIWAN YDIR KAMEL	フランス語圏文化学科	1学期
	アセフリワン イデイル カメル	フランス語圏文化学科	1学期
	SEGAUD, ALBAN CLARENCE	フランス語圏文化学科	1学期
	セゴアルバン クラレンス	フランス語圏文化学科	1学期
北京外国語大学	廖 栄成(リョウ エイセイ)	心理学科	1年間
国立中山大学	劉 亭吟(リュウ ティンイン)	数学科	1学期

本学からの第1期派遣学生をご紹介!

(学籍上の留学期間:平成31(2019)年4月～)

派遣先協定校	派遣学生	留学期間
オーストラリア国立大学(オーストラリア)	国際社会科学科 永木 新	1年間
ニューサウスウェールズ大学(オーストラリア)	国際社会科学科 吉澤 大地	1年間
	国際社会科学科 奥川 周作	半年間
マードック大学(オーストラリア)	政治学科 福岡 真菜	1年間
高麗大学校(韓国)	国際社会科学科 金 佳賢	半年間
東国大学校(韓国)	政治学科 浅岡 ひかり	1年間
淡江大学(台湾)	国際社会科学科 荻野 瑛子	半年間
	国際社会科学科 小笠原 妃那	半年間
	法学科 釜谷 愛子	1年間
	哲学科 大西 楠斗	1年間
東呉大学(台湾)	法学科 加藤 ひとみ	半年間